

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

美浜町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県知多郡美浜町

### 3 地域再生計画の区域

愛知県知多郡美浜町の全域

### 4 地域再生計画の目標

美浜町の人口は、1970年代に名古屋鉄道の知多新線が野間駅まで延伸したことや日本福祉大学の総合移転などにより、急速に人口が増加してきた。しかし、2005年の26,294人をピークに減少傾向に転じ、2015年の国勢調査では23,575人となった。住民基本台帳によると、2020年12月には21,681人となっている。第5次美浜町総合計画後期計画の人口の推計によると、2060年には11,500人になると見通される。

年齢別にみると、1975年に25.2%であった14歳までの年少人口の割合は、2010年には12.7%、2015年には11.3%にまで減少している。一方で、1975年に9.0%であった65歳以上の老年人口の割合は、2010年には22.1%、2015年には27.6%にまで急激に増加し、超高齢社会が到来している。今後もさらに少子化、高齢化が進展していくものと推測される。

自然動態をみると、2002年以降は、死亡数が出生数を上回る状況が続いており、直近の5年間においても死亡数が246人～265人に対し、出生数が101人～128人となっている。社会動態をみると、転入者数、転出者数ともに景気等の状況により各年において幅があるが、2019年の実績をみても転出者数が811人に対し、転入者数が698人となっていることから、長期的な観測においては、社会減が続いている。

このまま人口減少が進行すると、後継者や担い手の不足により基幹産業である

農業、観光業の衰退や、地域コミュニティの消滅といった課題が生じる恐れがあるため、人口動態の分析と将来人口を推計した「美浜町人口ビジョン」を踏まえ、美浜町の特色や地域資源を活かした地域再生計画を策定し、町民、地域団体、事業所、行政などが「自分事」として捉え施策に取り組むことで、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指す。

また、本町をもっとも特徴づけるものとして、豊かな自然と地域の人の温かさがあげられる。豊かな自然は、住む人や訪れる人の心にあたたかさや安らぎを与え、ここに住むことの魅力につながる。人生100年時代という超高齢社会を迎える中で『ひと』がいつまでも元気で生き生きと暮らしていくこと、知恵と技と想いを持って『自然』を守り育てていくこと、賑わいがあふれ、住んでよかったと実感できる『まち』を創っていくことが重要である。

私たちは、若い世代の流出を防ぐ子育て環境の整備に取り組み、自然環境やコミュニティなども活用しながら、「ひと・まち・自然、健康に輝くまち みはま」の実現のため、だれ一人取り残すことなく、『ひと』も『まち』も『自然』も健康で、だれもが生涯を通して活躍できるまちを目指し、『自然との共生+心』の精神で、豊かな自然と調和した持続可能なまちづくりに取り組む。なお、取組の推進に当たっては、次の項目を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 自然資源を活かした交流人口の増加
- ・基本目標2 女性や高齢者（だれも）が働ける場づくり
- ・基本目標3 住んでよかったと実感できる子育て環境の充実
- ・基本目標4 安全・安心につながる住民間の絆づくり

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	交流人口	4,885,242人	4,500,000人	基本目標①
	宿泊者数	86,051人	100,000人	

イ	就業者数	11,583人	13,000人	基本目標②
	シルバー人材センター 会員数	117人	150人	
ウ	子育て世帯へのアンケートで満足、やや満足を選択した割合	未就学 22.0% 小学生 16.8%	未就学 35% 小学生 35%	基本目標③
	0歳～5歳児人口	620人	620人	
エ	本町に住んでよかったと実感できる人の割合	—	70%	基本目標④
	本町に住み続けたいと思う人の割合	48.2%	70%	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

美浜町まち・ひと・しごと創生事業

ア 自然資源を活かした交流人口の増加を図る事業

イ 女性や高齢者（だれも）が働ける場づくり事業

ウ 住んでよかったと実感できる子育て環境の充実を図る事業

エ 安心・安全につながる住民間の絆づくり事業

#### ② 事業の内容

ア 自然資源を活かした交流人口の増加を図る事業

自然、伝統文化、農水産物等の地域資源を十分に活用し、都市との交流人口・関係人口の増加を図るとともに、観光や移住・定住、スポーツ

合宿地として選ばれるまちを目指す。また、積極的な情報発信や受入体制づくりを進め、国内外からの誘客を図り、地域活性化に取り組む。

**【具体的な事業】**

- ・地域資源活用プロジェクト
- ・観光拠点整備プロジェクト
- ・スポーツ交流拠点整備プロジェクト 等

**イ 女性や高齢者（だれも）が働ける場づくり事業**

子育て世代の定住を促し、同時に、女性や高齢者を含むすべての住民一人ひとりが安心して働ける環境を整備し、稼ぐ地域をつくることでいきいきと暮らすことができるようにする。

その結果、生きがいが増えることで、町外への転出を抑制する。

**【具体的な事業】**

- ・地域連携交流拠点プロジェクト
- ・産業活性化推進プロジェクト
- ・企業誘致・事業者支援プロジェクト 等

**ウ 住んでよかったと実感できる子育て環境の充実を図る事業**

若者の結婚への希望をかなえるとともに、育児に不安がある、就労等により児童の面倒を見ることが難しいなどの理由で子育てに悩みを抱えている子育て家庭に対し、子育てしやすい環境を整え、安心して出産・育児をできるよう支援する。

また、学校再編を推進するほか、ICT教育環境の整備、外国語教育の充実など、美浜町の特性を活かした魅力ある教育環境を整備する。

**【具体的な事業】**

- ・結婚・出産・子育て支援プロジェクト
- ・子どもの居場所づくりプロジェクト
- ・魅力ある教育環境推進プロジェクト 等

**エ 安心・安全につながる住民間の絆づくり事業**

コミュニティハウス（共生型居場所）の創設などにより、多世代が交流し、支え合い、分かち合える「生涯活躍のまち」の実現を目指す。また、郷土愛の醸成と全国に美浜町ファンを獲得する「住んでよかったと

実感できる」絆づくりプロジェクトに取り組む。

**【具体的な事業】**

- ・多世代交流拠点整備プロジェクト
- ・ふるさと納税プロジェクト
- ・美浜シティプロモーション・プロジェクト 等

※なお、詳細は第2期美浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

100,000千円（2021年度～2024年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）のサイクルを確実に回し、総合戦略の着実な実施を行うため、「美浜町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議」を設置し、毎年8月頃、重要業績評価指標（KPI）および各種施策の評価・点検を行う。なお、検証結果については、本町ホームページで公表する。

**⑥ 事業実施期間**

2021年4月1日から2025年3月31日まで

## **6 計画期間**

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで